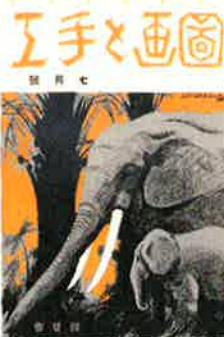
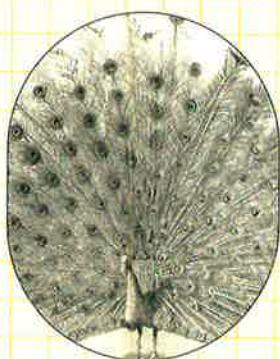
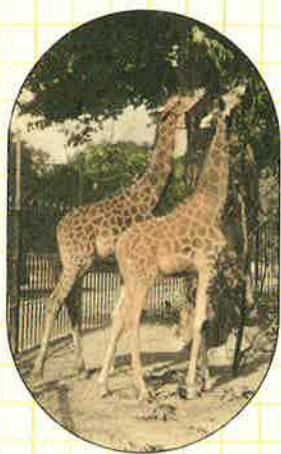


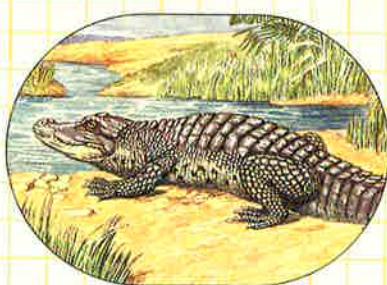
# Sugiura Hisui: Image Collector

## イメージコレクター・杉浦非水展



開館時間  
午前10時～午後5時  
(金曜・土曜は午前10時～午後8時)  
\*入館は閉館の30分前まで

休室日：月曜日、  
2月12日[火]、4月9日[火]、5月7日[火]  
(ただし、2月11日、3月25日、4月1日、4月29日、5月6日は開館)  
\*4月9日は美術館は閉館



主催：東京国立近代美術館  
共催：毎日新聞社  
特別協力：愛媛県美術館

会場：東京国立近代美術館 2F ギャラリー4



MOMAT

# Sugiura Hisui: Image Collector イメージコレクター・杉浦非水展



▶左上から順に「AURORA(極光)」広告図案(白熊)原画(1950-60年代)、『ラグビー』第1巻第3号(1930年12月)、『銀座三越 四月十日開店』1930年、『模写(鴨)』1890年代、杉浦非水撮影の16mmフィルムなど(画像提供 国立映画アーカイブ)、『植物写生帖』1901-50年頃 ▶表:①『三越』第19巻第1号(1929年1月)、②《杉浦非水図案生活三十年記念連合展覧会》1936年、③《ヤマサ醤油》1920年代、④『三越』第20巻第1号(1930年1月)、⑤『圖画と手工』第183号(1934年7月)、その他は杉浦非水が集めた雑誌の切り抜きや絵はがきより ▶フィルム以外は全て東京国立近代美術館蔵

本展では非水の代表作である三越のためのポスターをはじめ、数多く手がけた雑誌の表紙デザインや装丁の仕事、身近な動植物を描いたスケッチなどを展示し、19年ぶりに当館の非水コレクションを一堂にご紹介します。

さらに今回は、海外の美術雑誌や装丁の仕事、身近な動植物を描いたスケッチなどを展示し、大切に保管した貴重な旧蔵資料を初めて公開します。非水が何に 관심を持ち、何をollectingしていたのか、「イメージの収集家」という側面に焦点をあて、図案の創作にいたるまでのプロセスと非水の多彩な活動を改めて検証します。

杉浦非水(1876-1965)は、日本のグラフィックデザインの創成期を代表する図案家の一人です。当館では非水のご遺族から1997年に一括寄贈された700点以上にのぼる作品群を所蔵しています。

- 2月22日[金]  
「杉浦非水の目と思考—旧蔵資料から見る」  
長井健氏(愛媛県美術館 学芸グループ担当係長・専門学芸員)
- 4月19日[金]  
「杉浦非水と戦前日本の小型映画」  
富田美香氏(国立映画アーカイブ主任研究員)

\*各日とも午後6時から会場にて、申込不要・参加無料(要観覧券)  
一般 500円(400円) / 大学生 250円(200円)  
5時から割引[金曜・土曜]: 一般 300円、大学生 150円

所蔵作品展の観覧料でご覧いただけます。高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMAT パスポート」をお持ちの方、友の会、賛助会員(同伴者1名まで)、MOMAT 支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで)、シルバー会員は本人のみ)、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。

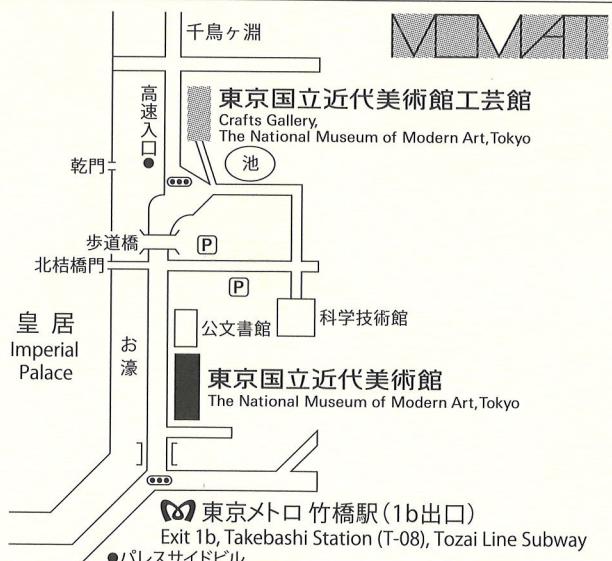
\*()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。\*割引・無料には入館の際、学生証・運転免許証など年齢のわかるもの、会員証、社員証、障害者手帳をご提示ください。

\*本展の観覧料で、入館当日に限り、所蔵作品展「MOMAT コレクション」(所蔵品ギャラリー4-2F)、工芸館 所蔵作品展もご覧いただけます(「The 備前」展はご覧いただけません)。

無料観覧日: 2019年2月24日[日]、3月3日[日]、4月7日[日]、

5月5日[日]、5月18日[土](国際博物館の日)

\*2月24日[日]は天皇陛下御在位30年を記念して入館無料です。



東京国立近代美術館 The National Museum of Modern Art, Tokyo  
〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1 <http://www.momat.go.jp/>  
お問い合わせ: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口より徒歩3分  
東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」4番出口、  
半蔵門線・都営新宿線・三田線「神保町駅」1A出口より各徒歩15分